

オンラインツールを活用した介護予防活動支援事業について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛により、地域での自主的な活動や他者との交流が制限された。高齢者の健康状態の維持と人とのつながりを確保し、地域での活動を継続するために、昨年度からオンラインによる介護予防事業等を開始した。

今年度、さらに地域での取組を進めるために実施しているオンラインツールを活用した介護予防活動支援事業について報告する。

記

1 高齢者会館における取り組み

高齢者会館において、オンラインで実施している「なかの元気アップ体操ひろば」(以下、「オンライン体操ひろば」)の体験会等を実施し、高齢者に対して身近な地域でICT活用を体験する機会を提供する。

6月 高齢者会館スタッフ向け体験会

8月末～9月 高齢者会館スタッフ向けタブレット講習会

9月末 高齢者会館にタブレットの配布を完了

順次、「オンライン体操ひろば」の体験会等を開始

2 ICTサポーターの育成

地域の身近な高齢者同士の支えあいにより高齢者のICT活用を支援するため、ICTサポーターを募集、研修を実施し、地域での活動の意思がある方について登録を行った。今後、高齢者会館の「オンライン体操ひろば」の体験会の支援等サポーターによる地域での活動を行っていく。

7月 ICTサポーター募集説明会(オンライン等)

参加者 女性28人 男性22人 計50人

8月 ICTサポーター研修(圏域別4会場で各3日間及び全体会 圏域別研修と同内容で別日にオンラインも実施)

参加者 女性19人 男性16人 計35人

9月～ ICTサポーター登録

登録者 女性14人 男性15人 計29人

11月～ 高齢者会館で事業のサポート活動を開始